



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目3番19号 東洋ビルディング本館3階

例会 毎週木曜日 12時30分 インターコンチネンタルホテル大阪

会長 在本 茂 幹事 中島 康之 広報委員長 荒木 幾夫

事務局電話(06)6374-0303 FAX(06)6374-0310 ホテル電話(06)6374-5700

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

NOVEMBER 14 2013 NO. 2224

ロータリー財団月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2224回)
- 2) ソング ローターリー讃歌
- 3) 卓話 創立46周年記念卓話
「大阪天満橋RC創立46周年記念卓話」
福井 興会員

次週(11月21日)のお知らせ

- 1) 例会 (2225回)
- 2) ソング それでこそロータリー
- 3) 卓話 「景気回復は本物か
(アベノミクスをどう見るか)」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会
関西事務局長 村田 貞博 様
橋本 守之会員紹介

☆☆ 11月度の在籍表彰 ☆☆

45ヵ年 福井 興

☆☆ 6ヵ月ホームクラブ皆出席者☆☆

坂本 一民 谷本 圭二

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆さんこんにちは、ビジターの皆様、ゲストの皆様ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくりお過ごし戴きたいと思ひます。

11月にはいり一度に涼くなりました。会員の皆様も衣替えをなさり、秋冬物の服装になっておられることと存じます。どうぞご健康に御留意下さいませ。

さて今月はロータリー財団月間でございます。本日はゲストの地区財団補助金小委員長であり地区災害支援プロジェクト副委員長の宮里唯子様をロータリー財団月間記念卓話をいただきます。宮里様後程卓話をよろしくお願ひします。

本日の会長報告はございません。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①クリスマス家族会のご案内を本日お配りしております。多数の会員ならびにご家族のご参

加をお願いいたします。

- ②青少年交換派遣学生の郷渡 一司から報告書が届いておりますのでお配りしています。
- ③「RI第2660地区 2013-14年度 地区大会」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。なお、申込書下方に分科会の出席対象者が明記されておりますので該当されます会員各位は分科会へのご参加もよろしくお願ひいたします。
- ④「新年初例会前の天満宮でのご祈祷」出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑤No.7・8テーブル情報集会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑥本日例会終了後に記念写真撮影を行いますので宜しくお願ひいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

誕生日自祝 間もなくの70才台、何事もホドホドに過します。 川原 和彦

月をまたぎましたが結婚記念日自祝 高田 肇
美しいお花ありがとうございます。西井 幾雄
中川さん、ポルトガルに続きお伊勢詣りの素敵なアルバムありがとうございます。川原 和彦
中川会員、家族会のすばらしい本、ありがとうございました。高田 肇

平成25年11月7日 合計金 28,000円

累計金 1,026,200円

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	67名	11月7日の出席率	82.26%
国内ゲスト	3名	会員出席	51名(62名)	5週間前(10月10日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	25名	メイクアップを含む出席率	85.48%
外国ゲスト	0名	会員欠席	11名	メイクアップ実施会員	3名(欠席者12名)

☆☆ 先週(11月7日)の卓話「奉仕活動と財団補助金」☆☆

RID2660地区財団補助金小委員会 宮里 唯子様

3年にわたる試運転(パイロット期間)を経て、2013-14年度より世界でFVP(財団の新補助金モデル)が導入されました。財団の補助金はわかりにくいというお声をよく耳に致しますが、本卓話が少しでも会員皆様の御理解に役立ち、大阪天満橋RCの奉仕活動に補助金を御活用頂ければ幸いです。

さて、クラブの奉仕活動はほとんどの場合、「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」(あるいは「奉仕プロジェクト委員会」)が実施するわけですが、昨今地区内クラブも会員減少が進み、個人寄付はもとよりクラブの予算も不足しがちです。そこでは是非ご活用頂きたいのが、我々の年次基金寄付を原資とする財団の補助金です。

財団補助金には、①地区補助金、②グローバル補助金(③パッケージ・グラント)があり、クラブの人的・教育的・職業的奉仕活動に活用頂けます。それぞれ特色と申請要件が異なりますので、皆様の活動にふさわしい補助金をお選び下さい。

	申請可能なプロジェクトや活動	特徴
地区補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・1回限りの短期小規模プロジェクト ・国内外のプロジェクト ・ロータリーの無い国で実施可 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画年度と実行年度の2年周期 ・地区に裁量権 ・補助金は20-60万円(社会奉仕)、20-100万円(人道的国際奉仕) ・補助金は前年度クラブ寄付実績による ・クラブは資格認定プロセスに参加する必要がある
グローバル補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・6重点分野に関わる大規模で国際的な活動 ・2カ国以上のロータリーが参加し、うち1カ国は実施国(地域)の地区かクラブ ・測定可能な成果と継続性が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書はオンラインで提出 ・年中受付可 ・財団に裁量権 ・クラブは資格認定プロセスに参加する必要がある ・補助金は、15,000~200,000ドル
パッケージ・グラント	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの提唱は、財団と戦略パートナー ・資金は100%財団と戦略パートナーが拠出 ・活動にはロータリアンがあたる 	

資格認定プロセスとは、地区財団委員会が主催致します「財団補助金管理セミナー」に少なくともクラブの代表者1名が参加し、「クラブの覚書」(MOU)に会長及び会長エレクトが署名し提出することを申します。

財団の補助金は、クラブ全体の責任において慎重に取扱い、全ての記録を保管しなければならないということ、また地区補助金については運用が2年周期であり、グローバル補助金についても規模の大きい国際的活動が求められる事から、補助金活動やプロジェクトは必ずしも単年度で完了致しませんので、現会長のみならず会長エレクトも申請内容を理解し、プロジェクトの完了まで責任を持って頂かなければならないということをお理解下さい。

当地区は日本の34地区の中でも、財団補助金活動の活発な地区であり、FVP初年度より地区補助金及びグローバル補助金共に、多くのクラブが積極的に取り組まれています。地区補助金については44クラブが平均40万円程度の補助金を利用し、国内外で奉仕活動を実施されています。申請が難しいと言われるグローバル補助金につきましても既に5件承認がおり、また現在7件が申請を準備されています。

大阪天満橋RCにおかれましても、是非補助金を御活用頂き、奉仕活動とクラブの活性化の一助として頂ければ幸いです。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

トマトガスパチョと海老のセビチェ、バジルのペースト
 US・ハラミビーフと万願寺ペッパーとトマトライス
 チョコレートムース、ベリー添え
 コーヒー